

養豚農場のベンチマーキングシステム『PigINFO』

養豚農場における生産成績のベンチマーキングとは、繁殖成績、肥育成績など各種の成績を経時的に測定し、他農場の数値と比較し、経営の改善に役立てるものです。これまでのベンチマーキングでは、高価なソフトウェアを必要とするなど、全国規模で応用するには問題がありました。そこで動物衛生研究所は、日本養豚開業獣医師協会と共同研究を行い、新たなベンチマーキングシステム『PigINFO』を構築し、全国の養豚農場に普及を進めています。

☆技術の概要

ベンチマーキングシステム PigINFO では、全国 155 の養豚農家から、生存産子数など 29 項目からなる生産データを 3 ヶ月おきに収集して解析し、対象としている農場の各項目の順位や評価結果(A~F)などを農場に返却しています(図 1)。劣っている項目に関しては改善目標値を提示し、目標値を達成した時に推定される年間出荷頭数増と増収益を知らせています(図 2)。生産者は評価結果に基づいて、各農場の問題点の改善に取り組むことで、生産性を向上させてより強固な養豚経営を目指すことができます。

項目	成績	順位	評価	データ数
粗利益(母豚/年)	¥324,049	25	B	110
販売額(母豚/年)	¥651,091	50	C	110
飼料費(母豚/年)	¥327,043	28	B	110
出荷枝肉重量(母豚/年)	1,642.3	55	D	108
枝肉価格(/kg)	¥396.4	43	C	108
出荷頭数(母豚/年)	21.6	57	C	113
離乳後死亡率	7.17%	91	E	113
飼料価格(/kg)	¥43.4	32	C	107
離乳子豚数(母豚/年)	22.3	82	D	113
農場枝肉FCR	4.70	18	B	105
離乳子豚数(/腹)	9.36	88	E	113
分娩回転率(/年)	2.33	50	C	113
哺乳中死亡率	8.80%	52	C	113
生存産子数(/腹)	10.27	92	E	113
分娩率	86.5%	50	C	113

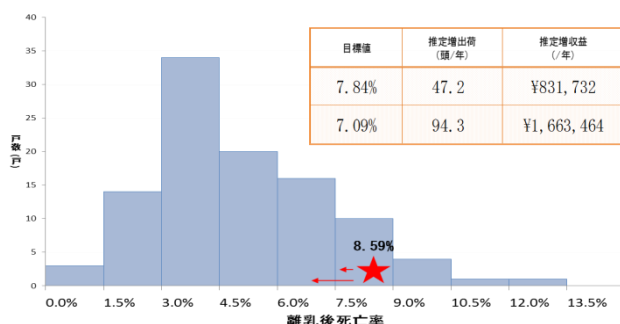


図 1 農場への返却結果の一例

図 2 離乳後死亡率の現在値(★印)、改善目標値(赤矢印)と達成時の出荷頭数増と増収益(右上表)

☆ 活用面での留意点

本システムで改善すべき項目を見つけだすことにより、経営改善とコストダウンの実施が可能になります。具体的な改善方法について、専門的な知識を有する獣医師に相談することをお勧めします。本システムの詳細については、動物衛生研究所情報広報課(電話 029-838-7708)までお問い合わせ下さい。

(動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域 山根逸郎)